

第三者評価結果

事業所名：マミングステーション

共通評価基準（45項目）

I 福祉サービスの基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者評価結果
【1】 I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
<コメント> 園の保育理念・園目標はホームページやパンフレット・全体的な計画に明記しています。職員には、職員会議で理念・保育方針、園の目指す方向性を周知しており業務の意識付けや実践につなげています。保護者には、見学時にパンフレットを用いて説明し、入園説明会や保護者会にて説明しています。	

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者評価結果
【2】 I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
<コメント> 園長は、手つなぎ協議会の会議に出席しており、情報収集や保育政策など地域福祉ニーズを入手しています。入手した情報は職員会議などで報告し資料は回覧しています。また、市・区からの情報を把握しており、園で必要とされている福祉ニーズを検討しています。	
【3】 I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a
<コメント> 園は法人と連携し、経営環境や園内の状況を把握しており、改善すべき問題点を明らかにしています。職員とは、職員会議で情報共有し、改善に向けた具体的な取り組みを周知しています。職員会議などでは、職員が発言できるよう努めており、職員会議ノートで情報共有をしています。	

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者評価結果
【4】 I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
<コメント> 中長期計画は、法人と連携して保育に関わる政策の方向性を見通し、保護者のニーズや職員からの意見などを踏まえて策定しています。人材雇用計画は、定められている保育基準に基づき、職員に負担なく働けるようパート職員の配置を検討しています。年度末には、検証・評価・見直しを検討し次年度計画に反映させています。	
【5】 I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
<コメント> 単年度計画は、中長期計画を踏まえており、園の意見を反映した実行可能な具体的内容としています。職員や保護者には、園の特色や保育の方向性を周知しています。園では、子どもが天候に左右されずに保育室で身体を動かせるスペースを作るため、環境を整備しています。	

(2) 事業計画が適切に策定されている。	
【6】 I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
<コメント> 園では、職員会議の時期を月末から月初に変更し、子どもの発達過程を情報共有して月案の作成をしています。職員は、子どもの成長を全職員で把握し保育に努めており、評価・見直しは定期的におこなっています。	
【7】 I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a
<コメント> 事業計画の内容や目的は、年度初めの懇談会や園だよりで保護者に周知しています。急遽、計画に変更が生じた際は、速やかに園だより・掲示にて周知しています。保護者からの、計画についての質問などには丁寧な対応を心掛けています。	

4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者評価結果
【8】 I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
<コメント> 保育の質の向上に向け、職員の自己評価や福祉サービス第三者評価の受審など組織的に取り組んでいます。毎月の職員会議では、保育計画→実践→評価→改善とPDCAサイクルで取り組んでいます。職員は自己評価にて保育への取り組みを振り返り、自己評価結果を踏まえ園長と面談をおこなっています。保育の質の向上に向けて組織的に取り組んでいます。	
【9】 I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
<コメント> 自己評価結果に基づき、園の課題を明確化し改善策を反映した次年度計画を策定しています。職員には職員会議などで、取り組むべき課題を周知しています。園長とリーダーの打ち合せ内容などはメモに書き留めておりますが、文書にて記録し職員と情報共有することが望まれます。	

II 組織の運営管理

1 管理者の責任とリーダーシップ

(1) 管理者の責任が明確にされている。	第三者評価結果
【10】 II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
<コメント> 園では、年度初めの職員会議で事業計画と経営・管理に対する具体的な取り組みを職員に周知しており、園の組織図と役割分担表にて明確にしています。園長は、日頃から園全体を把握するように努めており、積極的に保育に参加しています。園長が不在の際は、保育リーダーが代行することを職員に周知しています。	
【11】 II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<コメント> 園長は、遵守すべき法令について、区での園長会や園長交流会に出席し情報収集し正しく把握・理解するように努めています。法人の規定に基づき、園での取引関係業者とは適正に契約書を取り交わしています。施設長は、職員が遵守すべき法令などの理解に向けて、行政からの通知などを回覧し情報共有しています。	

(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	
【12】 II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
<コメント> 園長は、保育現場に入り園の状況を把握しており、適切な保育に努めているか確認しています。園長は、リーダーと保育の方向性・課題について話し合っており、職員に周知しています。園長は、職員と年2回面談で本人の意向や必要なスキルの確認をおこない、キャリアアップ研修・階層別研修への受講を勧めています。	
【13】 II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
<コメント> 園長は、職員の状況や適材適所を把握し役割分担しており、職員の負担軽減・残業軽減に努めています。職員の有給休暇や代休の取得など職員の希望に添ってシフト表を作成し、職員の事情など考慮したうえで、職員間で承諾し合いながら勤務に入るなど、働きやすい環境づくりに取り組んでいます。	

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者評価結果
【14】 II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	
<コメント> 園が、求めている職員像は明確になっており、採用活動はハローワークや園のホームページを活用しています。現在、新卒の職員はおりませんが、人材確保計画・人材育成計画を定め、採用から定着に向けて体制を整えています。		
【15】 II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a	
<コメント> 園では、職員採用時に職員に期待する職員像を周知しています。職員は、自己評価シートで自身の保育について確認・振り返りをしており、キャリアアップ研修で知識・技術の向上に努めています。園長は、職員と面談をおこなっており、自己評価やキャリアアップ研修修了状況、日々の保育に取り組む姿勢や態度や勤務に対する成果や貢献度を考慮したうえで人事評価をしています。		
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
【16】 II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	
<コメント> 園長が、職員の希望に添って勤務表を作っています。有給休暇の取得促進や時間外労働の削減に積極的に取り組んでおり、ワーク・ライフ・バランスに配慮しています。園長は、職員と日々のコミュニケーションを通じて意向を把握するなど、働きやすい職場づくりに取り組んでいます。		
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
【17】 II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	
<コメント> 職員は、年度初めに資質向上に向けた目標設定をおこなっています。園長は年2回の職員面談において、目標に対しての取り組み状況や疑問点を確認しながら、職員が働きやすさとやりがい追求できるように配慮しています。園長は、日頃から職員とコミュニケーションを図りサポートする体制を整えています。		

<p>【18】 II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。</p>	a
<p><コメント> 法人は、職員に保育姿勢を明確に周知しており、職員に必要とされる専門知識や技術が得られるよう研修計画を策定しています。園では、職員の年間の研修計画を立て、職員全員が資質向上に取り組む機会を設けており、特にキャリアアップ研修は積極的に受講を勧めています。職員の研修計画は、研修一覧表で管理しており受講内容が偏らないよう調整しています。</p>	
<p>【19】 II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。</p>	a
<p><コメント> 職員は、保育姿勢を共通理解のうえ保育に努めております。園長は、職員一人ひとりの現在の状況に応じて、必要な専門性を判断したうえで、希望する研修だけではなく、園としてスキルアップして欲しい専門性を考えて研修計画を立てています。職員は、研修後に報告書を提出し、各資料などは回覧し情報共有しています。</p>	
<p>(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。</p>	
<p>【20】 II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。</p>	c
<p><コメント> 今後、実習生の受け入れは採用の窓口の一つと捉え、受け入れ体制やプログラムなど検討中です。</p>	

3 運営の透明性の確保

<p>(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。</p>	第三者評価結果
<p>【21】 II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。</p>	a
<p><コメント> 園のパンフレットやホームページに保育理念・園目標を掲載しています。苦情相談窓口に関しては、重要事項説明書に記載しており、入園説明会で保護者に説明しています。福祉サービス第三者評価を受審し、評価結果は公表するなど情報公開に取り組んでおり、年3回運営委員会を実施しています。</p>	
<p>【22】 II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。</p>	a
<p><コメント> 園では、公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のために、園長の承認を得てから備品を購入する規定になっています。購入したレシートは必ず保管しており、保育備品出納帳・給食備品出納帳と用途別に区別しています。毎月末にレシートと現金出納帳を確認し、税理士に報告書類を提出しています。横浜市による指導監査を受けており、口頭指摘があった場合は、改善に向け速やかに取り組んでいます。</p>	

4 地域との交流、地域貢献

<p>(1) 地域との関係が適切に確保されている。</p>	第三者評価結果
<p>【23】 II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。</p>	a
<p><コメント> 全体的な計画の中で、「他園との合同保育イベントや赤ちゃん駅の設置」、「育児相談など地域との関わりを持つ」と記載しています。他園との合同保育イベントでは、近隣の商業施設で「親子で楽しく遊べる子育て支援イベント」を実施しており、保育出張サービスで育児相談をおこなっています。園は、赤ちゃんの駅に登録しており、乳幼児の親子が気軽に授乳やオムツ替えができる場所を提供しています。</p>	

<p>【24】 II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。</p>	<p>c</p>
<p><コメント> 低年齢児保育園という環境のため、ボランティアなどの受け入れはおこなっていません。</p>	
<p>(2) 関係機関との連携が確保されている。</p>	
<p>【25】 II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。</p>	<p>a</p>
<p><コメント> 地域の関係機関・団体の連絡先一覧を事務所に掲示しており、緊急時には職員が速やかに対応できるようにしています。また、連絡先一覧の近くに、通報時の応答マニュアルを掲示し職員全員が対応できる体制を整えています。消防署とは避難訓練時に、警察署とは定期的な巡回など、関係機関との地域ネットワーク化に取り組んでいます。</p>	
<p>(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p>	
<p>【26】 II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。</p>	<p>a</p>
<p><コメント> 年3回運営委員会を実施しており意見交換をしています。園長は、園長会や連絡協議会に参加しており、情報共有や地域の福祉ニーズの把握に努めています。</p>	
<p>【27】 II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。</p>	<p>b</p>
<p><コメント> 園は、駅前という立地を生かして「赤ちゃんの駅」に登録しており、授乳やおむつ交換の場所の提供や、育児相談など地域の子育て家庭の支援に取り組んでいます。子どもたちは、近隣公園へ散歩に出かけ植栽活動に参加しています。公園のロッカーに、園の水やり道具を保管しており、子どもが植物のお世話を通して地域との交流が図れるよう取り組んでいます。</p>	

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

1 利用者本位の福祉サービス

<p>(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>【28】 III-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。</p>	<p>a</p>
<p><コメント> 園長は、日々の保育の中で人権侵害に当たる可能性がないか確認しており、定期的に子どもの人権や虐待に関する園内研修をおこなっています。職員は、職員会議で子どもの成長過程を情報共有しており、子どもに寄り添った保育に努めています。</p>	
<p>【29】 III-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。</p>	<p>a</p>
<p><コメント> 園では、プライバシー保護に関する取り組みについて、職員会議などで共通理解のもと保育に努めています。おむつ換えや着脱時には人目に触れぬよう衝立やカーテンなど使用し配慮しています。保護者とは、会話の内容により奥のスペースを利用するなど話しやすい環境設定を心掛けています。</p>	

(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	
【30】 Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
<コメント> 園のホームページやパンフレットなどは、写真を活用して保育内容や設備などが一目でわかるよう掲載しています。パンフレットは、区の窓口や商業施設のスペースに常置し情報提供をおこなっています。園見学の時間は希望に応じておりますが、朝の園の様子を見てもらうようにしており、園内がワンフロアのため、子どもがお昼寝している時間帯は避けるようにしています。見学者からの質問にも、一つひとつ丁寧な説明を心掛けています。	
【31】 Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a
<コメント> 保護者には、入園説明会で保育内容や園の特徴について丁寧に説明しています。入園面接時には重要事項説明書に沿って園の概要や保育における説明をおこない、重要事項に関する同意、個人情報の取扱いなどについて意向確認・同意を書面で確認し提出をお願いしています。	
【32】 Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a
<コメント> 園は、小規模保育園のため2歳児までで卒園となります。保育所の変更が生じた場合は、子どもが安心して過ごせるよう保育の継続性に配慮しています。転園先からの問い合わせには、保護者の同意のもと、保育に関わる必要な情報提供をおこなうよう努めています。	
【33】 Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
<コメント> 日々の活動で、子どもの成長や発達を確認しながら、遊びに集中している子どもの姿や表情などから気持ちを理解するよう努めています。保護者とは、連絡ノート、個人面談、行事後のアンケート、日々の会話などから満足度を把握しています。職員会議では、保護者の意向や要望を情報共有し改善策を検討しています。	
(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
【34】 Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
【判断した理由・特記事項等】 園の、重要事項説明書に苦情相談窓口を明示して保護者に周知しております。保護者とは、気軽に相談できる関係を築き、苦情となる前の段階で意見を吸い上げられるよう努めています。職員会議では保護者から寄せられた意見や要望などを協議し、保育の質の向上に取り組んでいます。	
【35】 Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a
<コメント> 保護者からの相談や問い合わせには、いつでも対応しています。日ごろから保護者と良好な関係を築くよう積極的に声を掛け、相談窓口が複数あることを周知して相談や意見を述べやすい環境を整備しています。	

【36】 Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
---	---

<コメント>
日頃から保護者とは送迎時にコミュニケーションを心掛けています。保育者以外に栄養士が栄養相談に応じたり、家庭での様子を把握するなど組織的に対応しています。

(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

【37】 Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
---	---

<コメント>
園長は、リスクマネジメント研修を受講しており、職員に危機管理について周知しています。保育室の棚には、ストッパーを設置しており子どもが安全に過ごせるよう環境を整えています。職員は、AEDの使い方の研修や、避難訓練では消防署からの助言を受けており、緊急時の対応など安全対策に取り組んでいます。

【38】 Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
--	---

<コメント>
感染症の対応マニュアルがあり、職員は感染症が発生しやすい時期にマニュアルの読み合わせをおこなっています。保護者には、園だよりで情報提供をしており、症状別の対応方法を知らせています。万が一感染症が発生した場合は、玄関に感染症名や感染者数を掲示して注意を呼びかけています。

【39】 Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
--	---

<コメント>
園は災害時における子どもの安全確保のため、避難訓練マニュアルを整備しています。職員は、マニュアルの読み合わせをし、毎月の避難訓練と年1回引き取り訓練を実施しています。保護者には、災害時に保護者との安否確認は、保護者グループLINEでおこなうことを周知しています。園では、緊急時の備品をリュックに入れて保育室に常置しており、消費期限があるものは施設長が定期的に期限の確認をしています。

2 福祉サービスの質の確保

(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。 第三者評価結果

【40】 Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a
---	---

<コメント>
園では、新任職員にはリーダーと一緒に保育に入り助言や指導をしています。職員は、子どもの成長に合わせた保育に努めており、子どもの心身の様子を情報共有しています。園長は、朝の受け入時間を中心に保育に参加し、職員によって子どもの援助に差異がなよう確認しています。

【41】 Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
---	---

<コメント>
各種マニュアルは定期的に見直しをしています。保育内容の見直しについては、PDCAサイクル（計画の作成、実施、評価、見直し）で検討しています。保護者からの、意見や要望などは都度検討する仕組みになっており、次年度計画に反映させています。

(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	
【42】 Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	a
<p><コメント></p> <p>指導計画は、入園時の面談において、子どもの成育歴や既往歴、発達課程などを把握し作成しています。子どもの食事に関しては、一人ひとりの食べる量や咀嚼度に応じて保護者と確認しながら進めております。アレルギー疾患のある子どもは、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」に基づき、適切で安全な対応に努めています。</p>	
【43】 Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a
<p><コメント></p> <p>指導計画は、園長とリーダーを中心に作成し、わかりやすく図式化して職員に周知しています。指導計画は時期を定めて評価・見直しをしておりますが、緊急に変更した場合は職員会議で変更内容の確認をしています。次年度の指導計画は、評価・見直した結果を反映した計画を立てています。</p>	
【44】 Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
<p><コメント></p> <p>子どもの発達状況や生活状況などは、法人の定めた様式に記録しています。職員により記録の内容に差異が無いよう、園長が確認しており、必要に応じて職員会議で共有します。保護者との情報交換は、伝達シートで管理しており、職員は内容を確認したらチェックして情報漏れがないように取り組んでいます。</p>	
【45】 Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
<p><コメント></p> <p>子どもに関する記録は、個人情報管理規定を定めています。保護者には入園時に周知しており、個人情報の取扱いについての同意書の提出をお願いしています。園では子どもの記録など個人情報に関するものは全て事務所の鍵の掛かる棚で管理しており、保管期間や廃棄方法については規定の通り実施しています。</p>	